

■北海道学生選手権は8月24日開幕。ポテトボウルは8月31日に

北海道学生アメリカンフットボール連盟の第2回理事会が7月27日、札幌市生涯学習センター（ちえりあ）で開かれ、第51回北海道学生アメリカンフットボール選手権の日程などを決めました。北海道学生選手権は8月24日に開幕し、1部は北海学園大、釧路公立大、北海道大、室蘭工業大、東京農業大、帯広畜産大の6校、2部は北海道科学大、北星学園大、札幌学院大の3校が出場。10月19日までのリーグ戦で北海道王者と全日本大学選手権代表を争います。

甲子園ボウル（全日本大学選手権決勝）につながる北海道学生選手権1部は、連覇を狙う北海学園大、悲願の初優勝を目指す釧路公立大、2年ぶりの王座奪還に燃える北海道大を軸に、今年も熱い戦いが繰り広げられそうです。開幕戦（北海学園清田グラウンド）は昨年2位の釧路公立大が東京農業大と、昨年の覇者北海学園大は帯広畜産大とそれぞれ対戦。早くも優勝の行方を占う2試合となりそうです。

8月31日の第2節は、札幌市円山競技場に会場を移し、第52回肢体不自由児者チャリティアメリカンフットボールゲーム「ポテトボウル2025」として開催されます。また、10月26日の最終節（札幌学院大グラウンド）は1、2部入れ替え戦になります。

なお、例年1開催だった帯広畜産大グラウンドでの試合を、今年のリーグ戦では9月14日（第4節）と10月19日（第9節）の2開催に増やしました。道東地区3校の遠征負担の軽減が狙いです。

（広報委員 塚田博）